平成21年4月15日

2009年号

久留米大學法学部同窓会会報

KURUME UNIVERSITY Law Alumni Association



発行所　久留米大学法学部同窓会
〒839-8502　久留米市御井町1635
TEL/ FAX　0942（43）5164
URL：http://kurume-hougakubu-dousoukai.jp/
E-mail：krm-hou-dou@khh.biglobe.ne.jp

発行人　折戸　謙介
印刷所　株式会社　大里印刷センター

2009年号

久留米大學法学部同窓会会報

CONTENTS

ご挨拶

会報2009年号発刊によせて　会長　折戸　謙介　1
卒業生の皆さんへ　新法学部長　小竹　一彰　2
法学部長退任のご挨拶　前法学部長　阿部　和光　3

御井キャンパス便り

オープンキャンパス　4
学長と学生によるランチ懇談会　4
法学部パーティー　5
法科大学院の風景　～補助教員室より～　6

大学便り

平成20年度卒業式･法学部卒業祝賀会　7
久留米大学創立80周年を迎えて進む記念事業の現状と各キャンパスのいま　8～11
名誉毀損事件について　法学部教授　宗岡　嗣郎　12

Series

サークル訪問④～ボクシング部　13
シリーズ　今･むかし③ ～あのく祭編　14･15
日帰りぶらり旅のすすめ② ～ぶらり太宰府を行く　16･17
久留米コラム② ～JR久留米駅編　18

同窓会活動･会員のページ

大学法人執行部とのパートナーシップを確認 ～理事長･学長と手を携えて　19
平成20年度総会を開催･収支決算･活動報告　20
法学部同窓会執行部のご紹介　21
平成20年度学内支部総会が開催される!　22
専門職団体支部（仮称）参加者募集　22
他学部同窓会との交流　法学部同窓会･商経同窓会･文学部同窓会　23
同窓会員便り ～私の現在（いま）～　23

お知らせ　24

編集後記　25

●表紙写真



1000号館
（2009年2月17日竣工）



久留米大学法学部同窓会会報2009年号発刊によせて

久留米大学法学部同窓会 会長　折戸　謙介

私の久留米大学法学部同窓会の会長任期も2期目に突入しました。新しい任期への突入に伴い、同窓会役員の顔触れも変わりました。ほとんどの方には留任して頂き、その上で新しい方々に同窓会役員として就任して頂いたので、人数は増え、執行部の組織としては若干大きくなったように感じます。本会報には、同窓会役員全員の紹介記事が載るとのことですので、詳細はそちらをご一読して頂ければと思います。

同窓会という組織は、慢性的に人員不足に悩まされています。比較的どこの同窓会でも、同じ問題を抱えているようです。しかも後任が育ち難いこともあって、同じ人間が長期間に渡り組織の中枢にいることになり、ごく少人数で組織を動かすことになりがちです。結果として、組織は閉鎖的なものとなり、新参の参加が難しくなり、組織それ自体がまるで、その一部の者たちのためだけに、存在しているかのようになってしまいます。皆さんもよくご存じの私たち法学部同窓会が抱える問題、いわゆる『同窓会問題』は、そうした組織の閉塞性が生んだものであると言っても過言ではないでしょう。

私たちが約4年前に法学部同窓会を再建した際には、それらの過去の過ちを反省し、より開かれた組織にしようと考えていました。しかしながら、こうした組織の新陳代謝を保つことは、本当に難しいことなのだと、改めて思い知ることになりました。私たちくらいの世代（30～40歳くらい）だと、ある意味、仕事や家庭が最も忙しい時期であり、とてもボランティアで同窓会活動などに時間を割くことが出来ないのが正直なところでしょう。加えて、私たちは同窓会問題を抱えており、裁判にまで発展しているのです。これら一連の同窓会問題に関しては、大半の皆様から理解は得ているものの、裁判を抱えているような組織に役員としてまで参加するのには、ためらいを感じるというのが現実のようです。

そうした逆風の中で、私たちは諦めることなく活動を続けて来ました。より活発に活動することで、閉塞された状況も打破出来ると強く信じていました。

昨年の総会後の懇親会では、各種イベントを行い、ご参加頂いた皆様からは好評を得ることが出来ました。また、昨年は学内支部も発足されました。学内支部とは、法学部を卒業し、久留米大学に就職した同窓生により構成される支部です。このように新たな試みをすることで、同窓会の活動はより活発なものへとなりました。そして、今年も総会後の懇親会では各種イベントを計画中であり、昨年以上の盛り上がりが期待されます。また、新たに専門職団体支部（仮称）の設立を企画し、現在設立総会に向けて準備中です。弁護士、司法書士、公認会計士、税理士、社会保険労務士、行政書士、また公務員などの法律専門職による支部です。

こうして、新たな企画や試みにより、同窓会の活動は徐々にですが拡大しています。そうしたことが功を奏してか、今期から数人の新しい役員を迎えることが出来ました。新しく就任頂いた役員の方々には、大いに期待しています。そして最終的には同窓生の皆様の全員が、何らかの形で同窓会に参加している。そんな組織にまで育てたいと日々考えています。

■卒業生の皆さんへ



法学部長　小竹　一彰

2009年度（平成21年度）から法学部長を務めることになった小竹一彰です。私が久留米大学法学部に勤務するようになってから16年目になりましたが、このたび法学部長に思いがけず選任されました。私が法学部長として適任かどうかについて自信を持っているわけではありませんが、この会報の誌面を借りて法学部同窓生の皆さんに一言ご挨拶させていただきます。

前年度まで４年にわたって法学部長を努められた阿部和光教授は、法学部と卒業生が集う法学部同窓会との関係を正常化するために尽力されました。その結果、両者の関係は大筋で正常化することができました。阿部前学部長や法学部の同僚諸氏が積み重ねた努力を継承して、私も法学部同窓会との良好な協力関係をさらに強めていきたいと念じています。これはまた、法学部同窓会に集う皆さんが期待されているところだと切に感じています。

法学部にとって同窓会との協力が重要だと考えている理由は、久留米大学全体が、また法学部が置かれた厳しい環境によるところもあります。少子化による大学志願者の減少傾向はすでに長らく継続してきました。そういう環境において、昨2008年秋に始まった国際的な金融危機が今後の大学生の就職状況にも大きな影響をおよぼすことは、避けられそうにありません。卒業生の皆さんの中には、いわゆる「就職氷河期」を身をもって体験された方々も多数おられます。そういう貴重な経験を伝えていただければ、これから実社会に旅立とうとする在学生にとっても非常な励みになるでしょう。

つまり、法学部への志願者の確保と在学生の就職活動の両面において同窓会からのアドバイスをいただければ、感謝に堪えません。

また、御井学舎も皆さんが在学した頃に比べてかなり変化してきています。たとえば、この４月からは情報教育などのための新しい施設として1000号館が利用できるようになりました。さらに、御井学舎の多くの施設に雨にぬれずに行き来できるようなアーケードも設置されて不便を感じずに移動できるようになっています。久しぶりに母校を訪れた方々はおそらく変化の大きさに驚くのではないでしょうか。

卒業生の皆さんのご活躍と同窓会の一層の発展を期待して、新米学部長の挨拶とさせていただきます。

■法学部長退任のご挨拶



前法学部長　阿部　和光

本年3月31日をもって、法学部長職を退任しました。2005年4月就任から今日までの4年間は、私には激動の日々の連続でした。法学部教員は学部教育に専念すると共に、2004年4月に開設した法科大学院教育にも力を注いでいます。2007年には法学部開設20周年を迎え、柏木昇中央大学法科大学院教授（東大名誉教授）を講師に迎え、記念講演会を開催しました。法学部の歴史の節目を刻むと共に、開設30周年に向けて新たな一歩を踏み出しました。

私の学部長時代のなかで、法学部にも卒業生の皆さんにも不幸な出来事であった、同窓会問題に言及しないわけにはいきません。学部長就任直後の2005年4月教授会で、やむを得ず旧執行部を法学部のパートナーと認めない決議に踏み切らざるを得ませんでした。この教授会決議を受けて開催された同窓生集会（同年5月15日）には、70名余の卒業生の出席者があり、300通を超える委任状が寄せられました。出席者は母校への熱い思いから激論を交わして、最後に折戸会長ほかの数名の役員を選出し同窓会再建の舵取りを託しました。この日が新執行部による同窓会再建活動の苦難の始まりでした。役員の皆さんには再建への希望と情熱は十分あっても、活動資金はなく、事務局を含め必要な設備もなく、ゼロの状態からの苦しい船出でした。

翌年（2006年）2月に旧執行部は大学に対して、入会金（平成16年度・17年度）の引渡訴訟を提起しました。大学が卒業生に訴えられ被告になるなど予想外の前代未聞の出来事で、法学部も大学も深く傷つきました。この訴訟は2008年10月に諸般の事情を考慮して、不本意ながら和解で終結させました。旧執行部との和解は大学にとって苦渋の選択でしたが、和解によって大学と法学部同窓会（新執行部）の強い連帯関係は、些かも揺るぎませんでした。両者の強い連携・協力関係は、2008年12月5日付けの理事長・学長連名の文書で、改めて再確認されました。

新執行部は多くの困難に遭遇しながら立派な会報をつくり、大学の広報誌とは異なる卒業生ならではの視点から、久留米大学情報を卒業生・在学生に提供しています。新執行部の皆さんは同窓会本来の活動を通して、卒業生、在学生、父母の会、学部教員との連携を深め、連合同窓会との連帯の絆も強めてきました。地道な同窓会活動があればこそ同窓会の再建に成功し、久留米大学との厚い信頼関係を構築することができたのです。新執行部の役員の献身的な努力と、卒業生の皆さんの温かいサポートに改めて敬意を表します。

私は1999年に本学に赴任したので、新執行部の役員には直接の教え子がいません。しかし同窓会再建に立ちはだかる障害に対して、新執行部の皆さんと共に闘うなかで培われた信頼関係は、私の貴重な財産であり一生の宝物です。

法学部の卒業生はすでに６千名を超えました。法学部も大学全体も厳しい時代状況にありますが、種々の困難を克服して今後ますます発展していかなければなりません。大学の発展を支えるのは卒業生の皆さんです。法学部同窓会がより確かな存在となり、卒業生・在学生と学部・大学との交流の場として、益々発展していくことを祈念して私の退任のご挨拶といたします。

オープンキャンパス



受験を控えた高校生にとって、志望校選択の際、参考となるのがオープンキャンパスです。もちろん我が久留米大学でも毎年7月と8月に開催しています。

この催しはここ10年程で定着したものですが、最近では全国の大学・短大等で開催されています。

学食の食券配布、模擬授業を聴講など様々な体験ができるこのイベント。ちなみに法学部ではポケット六法を片手に憲法についての模擬授業を聴講した後、学生会館の法学部コーナーで、現役学生から実体験に基づいたアドバイスを聞くこともできるなど、大学生活を肌で感じるいい機会でしょう。



少子化が叫ばれるこの時代、オープンキャンパスがいかに重要であるかという点については、久留米大学ではこれまで見学に訪れた高校生のうち、6割強が実際に受験しているということで数字にも表れており、今後も更なる内容の充実を期待されます。

学長と学生によるランチ懇談会

皆さんは学生の頃の久留米大学の学長がどんな方だったか覚えていますか？おそらくほとんどの卒業生がご存じないと思います。そう、学生にとって学長とはまさに雲の上の存在、謎の存在といっても過言ではないかもしれません。現在の薬師寺道明学長は久留米大学にとって第9代の学長です。普段は旭町の本部にいらっしゃいますが、昼食は医学部の学食でとることが多いそう。カツ丼などを食べながら、学生と会話を交わすのがお好きという気さくなお人柄でも知られています。



その学長の「文系学生とも交流を持ちたい」との思いから、始まったのがこの企画です。

ある日の昼休み、学生会館1階にある「クラリネット」という軽食メインの学食の一角に、学長と学生10名が席に着きました。懇談会の始まりです。

やはり学生達も当初はやや緊張しているのか、言葉少なで目は泳ぎがちになっていますが、学長は穏やかな笑顔で親しみやすく語りかけて下さいます。そうこうしているうちに笑顔と和やかな空気が広がって会話も弾み、時間が足りなく感じるほどになったようです。

普段はなかなか接することの出来ない学長を、身近に感じることの出来る貴重な機会であるこの企画。今後も定期的に行われていくそうです。

法学部パーティー





2008年12月10日（水）御井キャンパス・御井学生会館において“法学部パーティ”が行われました。

法学部の学生と、先生方との交流を深める目的で企画されたこの催しは、今回で4回目となり、すでに年末の恒例行事として定着したようです。

前回のパーティに引き続き、同窓会も「援助金」という形でサポートをさせていただいておりますが、さらに今回も賞品付のクイズを企画担当し、好評を得ることが出来ました。

今後も出来る限り、様々な形でお手伝いをさせていただくことが我々の役割であり、さらには、いずれ同窓会会員となる学生の、同窓会活動に対する理解を深めるきっかけとなればと思います。

愛校心の高揚へ

今回はこのパーティを企画運営している、法学部学生委員会委員長の図子先生に、学生への期待などを寄せていただきました。

法学部教授
図子　善信

同窓生の皆さん、今日は。お元気でお過ごしのことと拝察します。

私が平成８年に久留米大学に奉職して13年が経過しました。最初に担当した３年ゼミ生が卒業して10年になります。彼らは各職場で中核の戦力になって活躍していると思います。私は、この３月末まで２年間学生部長を勤めました。

このとき考えたことは、学生の愛校心を高めたいということです。久留米大学は地域貢献という建学の精神、不屈不撓の伝統精神を有し、九州の私学で唯一旧制大学の歴史を有する大学で、校歌にもあるように光輝ある大学です。その誇りを持ってもらいたいと思い、次のことを行いました。　１つは、入学時の４学部オリエンテーションで校歌の練習をしたことです。もう１つは、九州六大学野球での応援合戦とされている対九大戦への応援参加、テレビ中継もあるアメリカンフットボールの対九大戦への応援参加の呼びかけです。その結果、私の期待したほどではありませんでしたが、近年に無い多数の人が応援に来てくれました。
いずれも校旗を捧持しての応援でした。





久留米大学は私学であり、私学の学生は建学の精神、伝統精神の下に集まった仲間です。その意味で大学は家族の様なものであり、同窓生を含めた大家族です。

今の学生はそのような意識が薄いようですが、仲間であることを確認することが、安心で楽しいものであることを知らせたいと思います。同窓会の援助も得て実施している、法学部の年末パーティーも同じ考えによるものと思います。

愛校心の高揚は、今の時代に流行らないように思いますが、愛校心は、愛社精神に通じ、社会性に通じると思います。久留米大学出身者は、愛校心が強く、会社を愛し、社会性があると言われたいと思います。

同窓生の皆さんで校歌を知らない方は、大学のホームページから聞いてください。また、ライバル対九大戦には是非応援に駆けつけてください。スタンドでミニ同窓会をやりましょう。

不況下ですが、今こそ不屈不撓の久留米大学精神で活躍されることを祈念します。

法科大学院の風景―補助教員室より―



久留米大学法科大学院
補助教員
平　　誠一（第9回卒）

久留米大学法科大学院では、日々、院生たちが新司法試験の合格に向けて勉学に励んでいます。900号館が本法科大学院の専用棟となっており、講義室、教員や院生の研究室、図書室およびPC室があります。また、若手弁護士や補助教員による学習支援などもあり、他の法科大学院と比べても遜色のない学習環境が整っています。



▲900号館

教員と院生の距離が非常に近く、熱心な指導、親しみのある対応を肌身で感じることができます。それも、各学年の院生数が20～30名という少人数教育ならではのことだと思います。また、院生であれば24時間施設の利用が可能で、夜中でも院生研究室には明かりがついており、日夜、院生たちは頑張っています。



▲研究室の様子

法科大学院は社会人も受け入れており、実際に、医師、歯科医師、薬剤師、パイロットなど本法科大学院でも多彩な経歴の持ち主が入学しています。出身の学部を見ても、文学部、経済学部、商学部、工学部、水産学部など、理系・文系を問わず様々な学部出身者がいます。このような経歴を持った人が法科大学院というひとつの場所に集まることで、単に法的な知識を詰め込むのではなく、彼らの話を聞くことで、より幅の広い、また将来必要になってくるであろう知識を身につけています。



▲模擬法廷

本法科大学院出身者の合格実績は、平成18年は１名、平成19年で１名、平成20年には5名となっており、うち2名は弁護士として久留米と熊本で活躍中です。残りの5名は司法修習を行っています。新司法試験の合格率からすれば、この合格実績は決してよいものではありませんが、合格者を増やすこともさることながら、本法科大学院の教育理念である「地域社会に貢献する法曹の養成」を受け、地域に密着し、地域社会や地域の人たちのために誠実かつ勤勉に活動する「人に優しい法曹」に多くの修了生がなってくれればと願っています。



平成20年度　卒業式・祝賀会

3月25日、からりと晴れた青空の下、平成20年度久留米大学卒業式が挙行されました。

法学部の卒業生347名を新たに迎え、法学部同窓会も会員数6千人を超えることとなります。

式終了後は、ホテルニュープラザに場所を移し、盛大に祝賀会が催されました。

4月から社会に羽ばたく卒業生たちは、一人ひとりの顔はまぶしく輝き、大きな喜びに満ちあふれていました。

今年は、阿部ゼミの阿部さんより久留米での学生生活の思い出を寄稿していただきました







法学部法律学科　阿部　史

久留米大学での学生生活を回想して

久留米大学は、私に唯一無比の充実した日々を与えてくれた。

鹿児島から単身久留米に移り、学生生活を送った。最初の1年は、一人暮らしの大変さや初めての学問に触れるだけで精一杯だった。ようやく生活のリズムが落ち着いてきた頃には、既に2回生。専門教科の講義が増え、法律は奥深く、一筋縄ではいかないことをただ痛感するばかりだった。この学問は自分には合っていないのではないかと不安になりかけた3回生。専門演習と法曹課程での判例研究が転機となり、法律の新たな一面にふれ、もっと深く学びたいという思いが私の進むべき道を決めてくれた。

4月からは久留米大学法科大学院で更に法律の知識を学ぶ予定だ。

久留米大学から学ばせてもらった様々な経験は、これからの私の人生にとって大きな糧となるだろう。改めて、友人達や教授の皆様にお礼と感謝の気持ちを述べたいと思う。

久留米大学創立80周年を迎えて

進む記念事業の現状と各キャンパスのいま



久留米大学は平成20（2008）年4月に創立80周年を迎えました。これもひとえに卒業生の皆様の厚いご支援の賜物と在職同窓生一同深く感謝申し上げます。

現在も創立80周年を記念した記念事業が進行中です。卒業生の皆様がよくご承知の御井キャンパスをはじめ、病院地区の旭町・国分地区でも記念事業が展開されており、今回はその現況をレポートしたいと存じます。

併せて、「各キャンパスのいま」として、昔と様変わりした本学の現状をレポートし、時代の流れを感じ取っていただければと思います。

学内支部　林田俊彦　（法律学科2回生：平成4年卒）

1 創立80周年記念事業

昭和3（1928）年に九州医学専門学校として産声を上げた本学は、昨年創立80周年を迎えました。現在では5学部11学科、4大学院研究科、法科大学院、11研究所・センター及び2つの付属病院を擁する総合大学に拡充・発展することができました。

今後も最高学府としての使命を果たすべく教育学術文化の醸成に努めてまいりますが、本学では創立80周年を記念し、環境の充実発展を図るため「久留米大学創立80周年記念事業」として、別記のような建設事業を実施しております。

さらに、昨年4月12日、地元国会議員や多くの卒業生・地元関係者にご出席いただき、創立80周年記念式典を開催することができました。法学部同窓会も会長をはじめ多数の幹事が列席いたしました。また、記念式典終了後に開催された祝賀会において公募により選定された本学のロゴマークとキャッチコピーが披露されました。

このほか、映画監督瀬木直貴氏による「80周年記念DVD」が制作され、昨年夏には「久留米大学80年史」が刊行されました。

共に、創立より今日に至るまでの本学の発展の足跡を記録したものです。

なお、この年史は、本学企画広報課にお申し込みいただければ1冊2,000円（送料込）で販売しております。あわせて「80周年記念DVD」も500円（送料込）で好評販売中です。



本学80年史

人へ、地域へ、そして世界へ。
久留米大学
本学の新しいロゴとキャッチコピー



80周年記念DVD

2 創立80周年記念事業（建設関係）について

（1）大学病院新病棟の建築

昭和3（1928）年の開設以来筑後地区の最先端医療の要として機能していた久留米大学病院の旧本館を解体し、21世紀の医療を担うべく新病棟（地上15階建）を建設中です。平成21（2009）年1月現在、西病棟（仮称）の建設が同年2月の竣工を目指して急ピッチで進められています。

今後東病棟（仮称）の建設が平成21（2009）年度初頭から開始され、平成22（2010）年9月頃には完成予想図のような病棟が完成する計画です。病棟の屋上には九州の大学病院では初となるドクターヘリの格納庫・駐機場も整備されることとなっています。


新病棟完成予想図


2009年3月現在の建設現況

（2）医療センター病棟・外来管理棟の建築

おかげさまで平成20（2008）年4月にグランドオープンいたしました。旧国立久留米病院の時代のイメージを一新し、明るく開放的な総合病院として、地域医療の先端を担っています。特に管理棟は各診療科などのほか、事務・管理部門や手術室などを完備し、3～5階は入院棟として機能しています。

また、院内に「病児保育施設～エンジェルキッズ」を開設し、働くお父さん、お母さんの支援も行っています。久留米近郊の方、是非ご利用ください。



新病棟・外来管理棟


新装なった正面玄関付近

（3）旭町記念館（体育館）・学生部室棟の建築

旭町キャンパス（医学部医学科及び看護学科、臨床検査専門学校）の学生の福利厚生事業の一環として、老朽化が著しくなっていた旭町記念館（体育館）・学生部室棟の改築を実施しております。昨年より工事が進められ、平成21（2009）年4月には完成予想図のような施設が完成する予定です。


旭町記念館（体育館）・学生部室棟完成予想図


2009年1月現在の建設現況

特に体育館（地上2階建）は1階がアリーナ、管理人室、器具庫となっており、2階はギャラリー、観覧席が設けられています。また、部室棟（地上3階建）は医学部学友会の会議室、部室のほか、シャワー室や合宿室、武道場も備えており医学系学生の心身の鍛錬に大いに貢献するものと期待されています。

（4）御井キャンパス講義・研究棟の建築

御井キャンパスは現在、法学部をはじめ商学部・経済学部・文学部並びに大学院比較文化研究科・心理研究科・ビジネス研究科、そして法科大学院をいれて6000名超の学生と250名近くの教職員が在籍しています。特に文学部開設後、情報社会学科や心理学科が開設され、専用の教室が待望されるとともに、手狭になった講義・研究施設の拡充を目指すべく、昨年から「情報教育・心理学教育研究等の講義研究棟」（地上7階建）の建設が進められ、本年2月17日に竣工いたしました。

この施設は、旧正門を西側に移設し、旧駐輪・駐車場跡地に建設され、今後は「1000号館」の呼称で運用されます。施設の特徴として情報教育センターと心理学系の教員研究室、演習室、心理教育相談室（6～7階）等が入る予定になっていますが、1～5階の情報教育センターのパソコンの台数は現在よりも370台増設して930台となり、学生の皆さんには飛躍的に利便性が高くなるものと考えています。


1000号館（2009年2月17日竣工）

（5）附設高等学校・中学校校舎の建築

附設高等学校・中学校校舎は御井キャンパス西南の野中町キャンパスに位置し、昭和25年の高等学校、昭和44年の中学校開設以来、優秀な人材を輩出しております。このたび、80周年記念事業の一環として、「附設高等学校・中学校校舎の建築」が計画されています。現在、建設に向け準備を行っているとのことです。



附設高等学校・中学校校舎のイメージ図

（6）久留米大学創立80周年記念事業募金について

以上（1）～（5）の事業については、総事業費は230億円を予定しておりますが、これらの創立80周年記念事業は、すべて財源的な裏付けや資金面の見通しも考慮しつつ着実に実施しますが、全体の事業計画には多額の資金が必要です。

大学経営が「氷河期」に例えられる時代背景ではありますが、優れた学術文化の創出と地域文化の進展へ寄与するためには、このような環境整備が不可欠であると考えられます。

つきましては、卒業生の皆様方に対しても広くご援助をいただきたく「久留米大学創立80周年記念事業募金」として10億円の募金計画を立てさせていただいている次第です。

現下の厳しい経済情勢と何分にも不如意なご事情の中で誠に恐縮に存じますが、創立80周年記念事業を是非とも成功させ、一層の発展が得られますよう、皆様方のご援助をお願いいたしたく存じております。

寄附は任意でございますが、何卒この趣旨をご理解の上、格別のご支援・ご賛同を賜りたく伏してお願い申し上げます。（「久留米大学創立80周年記念事業募金趣意書」より抜粋）

3 各キャンパスのいま

久留米大学法学部も昭和62（1987）年4月以来、現在まで約6000名の卒業生を輩出しています。最も早い卒業生が平成3（1991）年4月に卒業していますので、約20年近い歳月が過ぎています。この間、社会情勢も大きく変化しましたが、学内の様子も大きく様変わりしています。特に御井キャンパスの変貌ぶりには目を見張るものがあり、卒業1回生や2回生のみなさんは驚かれることが多いと思います。ここでは、現在のキャンパスのいまを紹介していきたいと思います。

併せて、在学中にお世話になった方もおられると思いますが、大学病院や医療センターについても紹介します。

卒業生の皆さまもお近くにお越しの際はぜひ立ち寄って、ご自身の目でご確認いただければと思います。特に御井キャンパスでは千歳会館に同窓会事務局が開設されていますので、昔話に花を咲かせていかがでしょうか？

【御井キャンパス】

グランドの横には法科大学院や模擬法廷が入居する900号館、旧野球場跡地にはメディアセンターがそびえたっています。このメディアセンター横に1000号館が建設されました。

また、御井キャンパスの横には新設の「学生会館」「新部室棟」や「千歳会館」があります。学外では朝妻バス停東側に「JR久留米大学前駅」が開設され、写真上には久留米市外環状道路の建設工事もみえます（昨年高良山登山道入口から矢取まで部分開通しました）。

私が在籍したころ（昭和63～平成4年）とは町並みやキャンパスの風景が大きく様変わりしました。在籍中に建設され、かろうじて活用することができた図書館や、100・200・300・600・700号館と御井学館以外はほぼすべて建て替わりました。



さらに、平成20年度中に御井キャンパスのバリアフリー化推進事業として、600号館と700号館にエレベータを設置し、また、教室間移動の利便性を高めるために御井学館から200号館までバリアフリー化（屋根つき通路）の増設工事も行っています。

【旭町キャンパス】

平成10（1998）年に総合診療棟が創立70周年記念事業として開設され、かつての病院旧本館や旧外来棟で行われていた外来業務はすべて移行されました。さらに現在総合診療棟と東西病棟（入院棟）の間に新病棟が建設されています。写真では分かりづらいですが、大学本館が中央左側にいまでもあります。また、福利厚生施設では平成11（1999）年に筑水会館が改築され、現在その横で体育館と医学部部室棟の建設が進んでいます。

この20年の間に看護学科も開設され、学生数1000名、教職員や患者まで含めると約5000名以上の方々がこのキャンパスで毎日過ごしていることになります。

余談ですが、数年前から、夏の筑後川花火大会が分散して開催されており、旭町キャンパス横の筑後川小森野橋付近でも「篠山会場」として大輪の輪を見ることができます。





【国分地区：医療センター】

平成6（1994）年7月に旧国立久留米病院を厚生労働省から移管し、「医療センター」としてオープンしました。大学病院の機能を備えつつ、総合病院として地域医療やプライマリーケアを重視した地域密着型の病院づくりを行っています。新外来棟オープンと同時に西鉄バスや堀川バスが乗り入れており、利便性も向上しました。管理棟の屋上には庭園もあり、入院患者にも好評です。



【野中町キャンパス】

御井キャンパスの近くに野中町キャンパスとして、附設中学・高等学校校舎があります。皆さんの中にも近くに下宿やアパートを借りておられた方がいたのではないでしょうか？各界の著名人や医師など、ここから多くの方が卒業され、第一線で活躍されています。

謝辞：本記事を作成するにあたり、本学経営企画部企画広報課に校正のご協力と写真のご提供をいただきました。
本誌を借りて厚く御礼申し上げます。



法学部同窓生の皆様へ

法学部教授　宗岡　嗣郎

平成18年5月ころ、「久留米大学法学部同窓会　会長　森崎賢一」という記名文書が皆様の手元に郵送されたと思います。私も、当時、東京在住の卒業生から、その文書を転送してもらって読みました。そこには次のように書かれていました。「折戸同窓会からの総会召集通知書面の内容を見ますと、殆ど事実に反し、私達に対する名誉毀損の内容も含まれていることをお伝えします。また、それに対し反論いたしたいのですが、今日の混乱を招いた宗岡教授の古賀（女性）前同窓会長に対するセクハラ及びパワハラ問題が、法廷で争議中であるため、この書面では差し控えることをお許し下さい。ただこの問題発覚当時に宗岡教授が法学部長、古賀さんが同窓会長だったということと、宗岡教授が中川原名誉教授まで巻き込んだことが、よりいっそう問題を複雑深刻化させ、今日に至るまでの争いになったことは疑いようのない事実です」、と。

この森崎の封書には、中川原の文書も入っており、同様のことが書かれていました。このように、古賀公子や中川原は、私が古賀にセクハラおよびパワハラを行ったという事実を捏造して宣伝していましたが、平成19年3月に第1審判決があり、彼らの主張はことごとく斥けられました。中川原については、裁判所は、「被告中川原は、本件各文書の流布を防ぐどころか、これを添削し、文書として完成させ、被告古賀に返したというのであるから、積極的に本件文書の配布に関与したと評価せざるを得ない」（地裁判決18～19頁）と認定し、古賀と中川原の共同不法行為を認定しました。森崎や中川原が書くような、セクハラの事実もないことが明らかになりました。

また、昨年（平成20年）9月に、福岡高裁の判決があり、古賀と中川原の控訴は棄却されました。高裁では、宗岡が古賀にセクハラおよびパワハラを行った新たな証拠として、森崎が自宅で発見したという古賀からのファックス受信紙などを提出していましたが、高裁は森崎によって提出されたこの証拠を「後日に作成された可能性を否定できないというべきであり、これを採用することはできない」（高裁判決11頁）と証拠偽造を示唆して斥けました。さらに、森崎は出廷して供述までしましたが、まったく採用されず、1審判決と同様、中川原と古賀の共同不法行為（セクハラ事件の捏造）が認められました。そして最高裁も彼らの上告を棄却しました。

冒頭に、東京と熊本の卒業生から手紙がきたことを書きましたが、他からも多くの手紙やメールを頂きました。反対に、森崎からの文書が送達された後、来なくなった年賀状も多くあります。裁判では勝ちましたが、こういう事実はずっと残っていきます。とても残念で、寂しいことですが、それはそれで仕方がないのかもしれません。

サークル訪問④

ボクシング部



第２体育館２階奥にボクシング部の練習場があります。中から音楽と気合のこもった声が聞こえてきます。ドアを開けると中央にリングが設えられており、その上では部員達が一心不乱にシャドウボクシングを行っていました。

普段は優しく穏やかな顔の部員達が、リングに上がると精悍な表情に変わり、まるで別人、真剣そのものです。

久留米大学ボクシング部の歴史は古く、昭和25年にまで遡ります。当時、御井キャンパスには商学部だけでなく、医学部進学課程の学生も共に学んでおり、現在の薬師寺道明学長も部員として在籍されておられました。

その頃は戦後間もないこともあり、練習環境はとても恵まれているとは言い難く、いわゆる米国進駐軍の払い下げ品などを使用したり、またパンチングボールは部員による手作り、リングも中古品という状況でした。

そんな中でも昭和28年の福岡県大学ボクシング選手権大会では、４名のチャンピオンが出るなど、目覚しい活躍を見せました。このときのチャンピオンは全員が医進課程の学生で、医科系大学の選手が７階級のうち４階級を制覇する快挙を成し遂げたことで、大きな話題になったといいます。

その後も同じく昭和28年の全九州インターカレッジにおいて、医学部･商学部の合同チームが優勝を飾るなど、九州の雄としてその名を全国に轟かせました。

こうして数々の輝かしい成績を収めてきた久留米大学ボクシング部からは、プロボクサーも輩出しています。

その中には、元ＷＢＡ世界ジュニアバンタム（現在のスーパーフライ）級王者だった、飯田覚士選手とも対戦したＯＢも･･･。

最近では平成18年の九州地区大学アマチュアボクシング新人選手権大会や、平成20年の九州選手権大会等の大会でも優勝者を出しており、先輩方の精神はしっかりと受け継がれ、彼らは着実に活躍を続けています。

ひと頃に比べると九州の学生ボクシングは、関東・関西に押されているようですが、彼ら久留米大学ボクシング部には、今後も変わらぬ奮闘を期待したいものです。



シリーズ 今むかし 御井学舎

❸ あのく祭編



毎年恒例の久留米大学の学園祭「あのく祭」が、前夜祭のお笑いライブに「ラーメン　つけ麺　僕イケメン」でおなじみの狩野英孝さんを迎え、大いに盛り上がって幕を開けました。開催期間中は多くの模擬店が立ち並び、あたりには食欲をそそる匂いが漂い、メインステージではミスコン・ミスターコンなど、様々なイベントが繰り広げられ、学生達の熱気は最高潮のまま感動のフィナーレへとなだれ込みました。

あのく祭の由来

そんな久留米大学の「あのく祭」。この名称の由来を皆さんはご存知ですか？

今を去ること44年前の昭和40年頃、旭町の医学部の「医学展」、御井町の商学部の「学園祭」として別々に開催されていました。しかし同じ久留米大学の仲間として合同の学園祭をやろう！それに相応しい名前を付けよう！と、広く一般学生に募集をかけたところ、多数の候補の中から選ばれたのが、久留米や佐賀でよく使われる「あのくさい（あのね…）」という方言からヒントを得て命名された「あのく祭」。

また、その名前には御井町と旭町の学生だけでなく、「近隣の皆さんとの交流を深めたい」との思いが込められてもいるのです。その思いが通じたのでしょう、今ではすっかり地域に根ざしたものとなっています。

企画のいまむかし

さて、卒業生の皆さんの中には、仮装みこしやパレードが頭に浮かんだ方もいると思います。実際に参加された方も数多くいることでしょう。

仮装みこしは、久留米市役所近くの三本松公園から御井キャンパスまで「思い思いの仮装でみこしを担いで、久留米の町を練り歩く」というもので、あのく祭初日にみんなの団結を図る上でも大切なものでした。しかし、地元警察への許可申請や対応の難しさ、また沿道の商店や住民の方々からの苦情の増加など、周辺環境の変化により、残念ながら10年ほど前に中止となってしまったのだそうです。



▲仮装パレード

バザーのいまむかし

法学部が出来た昭和61年頃は、まだ名物のケヤキ並木も舗装されておらず。模擬店のテントは並木道の両脇にズラリと軒を並べ、体育会の先輩達の威勢の良い客引きの声に誘われて、ウキウキしながら並木道を東に西に、何度も行き来しては模擬店を覗いていたものです。

もちろんバザーにも変化の波は訪れていて、学生会館や800号館近くにテントが規則正しく配置されています。整然としたバザーテントは回りやすく、学生達はみんなおしゃれで、バンカラな雰囲気も薄れました。しかし反面、昔の自由な時を知っている世代からすると、ちょっとお行儀が良すぎるかな？という寂しさも感じます。



◀バザーの〝いま〟



▶バザーの〝むかし〟



メニューのいまむかし

バザーメニューもおしゃれに変身しています。アイスクリームやタピオカ入り紅茶、クリームシチューなど女の子が好きなメニューが加わりました。やはり文学部が出来て、女子学生が増えたおかげでしょうか。とは言え、焼きそば・たこ焼き・豚汁・わたあめ等々の定番メニューは今も健在ですので、皆さんどうかご安心を…。



ここで、平成20年度の執行委員長と、企画部長にあのく祭を終えての感想をお願いしました。近頃の学生は「熱さ」が足りないと思われているようですが、中々どうしてしっかりと頑張っています。

時代の移り変わりと共にその姿を変えていくあのく祭ですが、やはり楽しいお祭には変わりありません。今年は皆さんも足を運んで、ちょっぴり学生時代に戻ってみませんか？

あのく祭を終えて

あのく祭執行委員長　商学部商学科　諸藤　泰佑

平成20年10月31日から11月3日までの4日間、御井キャンパスで第43回「あのく祭」が開催されました。テーマSyncreateとはSynchronizeとCreateを掛けた言葉です。「あのく祭」がさまざまな関係者のもと成り立っていることを意識して、皆が協調し合ってより良い「あのく祭」を創って行こうという思いでした。久留米大学が創立80周年を迎えたこの年、「あのく祭」は例年にも増して新しいことに挑戦してきましたが、先立って開催された医学部と合同のダンスパーティーで始まり、前夜祭から後夜祭まで成功の連続だったと思います。特に花火大会は見る人を驚かせ、多くの人の心に強い印象を与えました。また、ステージ企画では司会の上手さに感心、出演者に大笑い、ミスコンテストにうっとりし、みんなの頑張る姿や多くの人が涙を流す姿に心を打たれました。その他、サークルによるダンスや演奏、展示、簿記大会、地域交流に芸能人ライブなど、一つひとつの企画にテーマがあって、そこに込められたさまざまな思いに感動しました。来場された方々からもご高評をいただき、来場者数も例年以上となりました。

委員会研修から幾つもの議論を重ねてきた１年間。その集大成として良い「あのく祭」になったと思います。そして私たちの意思、成果は後輩たちに引き継ぎます。来年度の「あのく祭」に向けてすでに動き出している次期執行委員と今後の「あのく祭」に是非ご期待ください。

最後になりましたが、地域の皆様を始め、今年度の「あのく祭」の成功を支えて下さった多くの方に厚く御礼申し上げます。

あのく祭企画部長　文学部国際文化学科　柳　知宏

私にとって第43回あのく祭は、「責任」という言葉の重さを改めて考えさせられた１年となりました。企画部長という役職上、各企画との接触が絶えず、私の準備不足もあり様々な問題が起こりました。その中で特に辛く、同時に嬉しかったことはグラウンドで行われた企画です。以前までグラウンドメインで行われていたあのく祭でしたが、ゴミ等の関係でグラウンドでの催し事は少なくなりました。しかし今年はそれらを改善し、普段お世話になっている地域の方々への感謝の意を込めヒーローショーを行いました。さらに毎年好評の花火はレーザーショーが復活し、あのく祭の締めくくりに相応しい感動的なものとなりました。これも多くの人があのく祭に参加してくれた結果であり、決して私一人の力ではやり遂げることはできませんでした。まさに今年のテーマ「Syncreate-共創-」のもと努力してきたあのく祭スタッフの全てが表れていたと思いました。

問題点も数多く残りましたが、企画部長として多くの企画に関わり、試行錯誤したことは私の人生でかけがえのない財産となりました。この経験を後輩に伝え、今年より更に良いあのく祭を創ってくれることを願っています。



日帰り旅レシピ　～ぶらり太宰府を行く～

太宰府天満宮
↓ 徒歩　5分
九州国立博物館　「日本文化の形成をアジア史観点から捉える」という視点をもった国立博物館
↓ 徒歩　5分
光明禅寺　菅原家にゆかりのある鉄牛円心和尚が開山した禅寺
↓ 徒歩　5分
参道散策　かさの家　太宰府名物の「梅ヶ枝餅」を食べ歩き♪
↓ 徒歩　3分
誇名庵　蕎麦処　手打ちお蕎麦のランチ♪
↓ 車で　8分
大宰府政庁跡



■太宰府天満宮
言わずと知れた学問の神様、菅原道真を祀る全国天満宮の総本宮。
903年に道真が亡くなり、その亡骸を牛車にのせて運んだところ、
途中で牛が伏して動かなくなったところに建てたのが太宰府天満宮。
現在の本殿は、1591年に毛利元就の三男、小早川隆景の寄進により建てられたもの。



■御神牛
道真の亡骸を運ぶ牛車が現在の太宰府天満宮の場所で止まったことから、御神牛として祀られている。

牛さんの補足説明
道真公が845年（丑年）に生まれたことと本殿建立の聖地が牛との神縁によって定められたことからに由来されている。自身と牛の同じ部分を互いに撫でさすると病気全快するといわれ、神牛の頭をさすると知恵が付くという信仰がある。



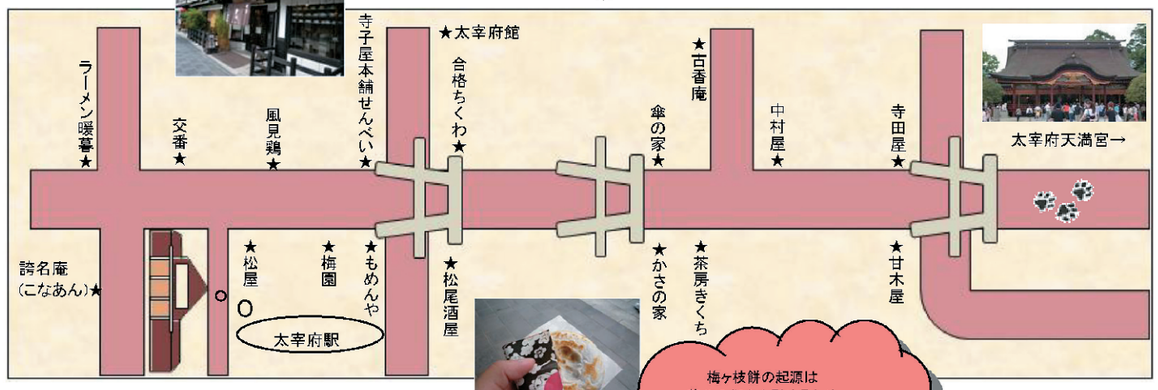
■飛梅
本殿前にある「飛梅」は、京を追われた道真を慕い、一夜にして太宰府まで飛んできたといわれる。
「東風吹かばにほひおこせよ梅の花　あるじなしとて春な忘れそ」が有名

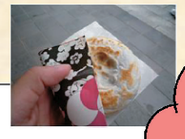
●菅原道真公・・・当代一流の学者であり、政治家でもありました。その豊かな学才は、有力な一族を抑えて右大臣になるまで出世しますが、無実の罪で左遷されます。それでも時の天皇への誠心を貫いた生涯は清らかであったと今も多くの人から尊崇されています。

■風見鶏
140年前の旅籠を改装した
レトロな喫茶店。一休みしては・・



参道map





梅ヶ枝餅の起源は
菅公の御心を慰めるため
に差しあげたとも、
菅公の霊柩に供えられたもの
ともいわれ、
除災招福の霊験
が伝わっている。



行列ができていました！



■誇名庵
蕎麦処　手打ちお蕎麦
営業時間　11:00 ～ 19:00
予算目安 800円～1500円



■かさの家
菅公をしのぶ京風造りのたたずまいの「かさの家」
落ち着いた店内でも食事できます。
梅が枝餅だけではなく、麺類や、丼ものなどのメニューもあります。
営業時間　9:00 ～ 18:00

ちょっと足をのばして・・・・・

岩屋城跡



■岩屋城
現在では、周りに何もなくあるのは石碑だけです。
1586年に大友家(高橋紹運) 736人と島津家5万の戦いがありました。
圧倒的な戦力差にも係らず、半月もこの地を文字通り死守します。
守備兵は全員玉砕、紹運の最後は切腹し腸を投げたと伝わっています。

大宰府政庁跡



■大宰府政庁跡
奈良・平安時代、九州の総括と外交・軍事を司った大宰府政庁の跡。周囲を草に覆われ、当時を想い浮かべるものは全くありません。
謎が多く、詳細は不明です。
今は子供の遊び場に近いです。

ちなみにこの石たちは
明治、大正時代の碑です。

sonic cafe



お洒落なかわいい店内♪

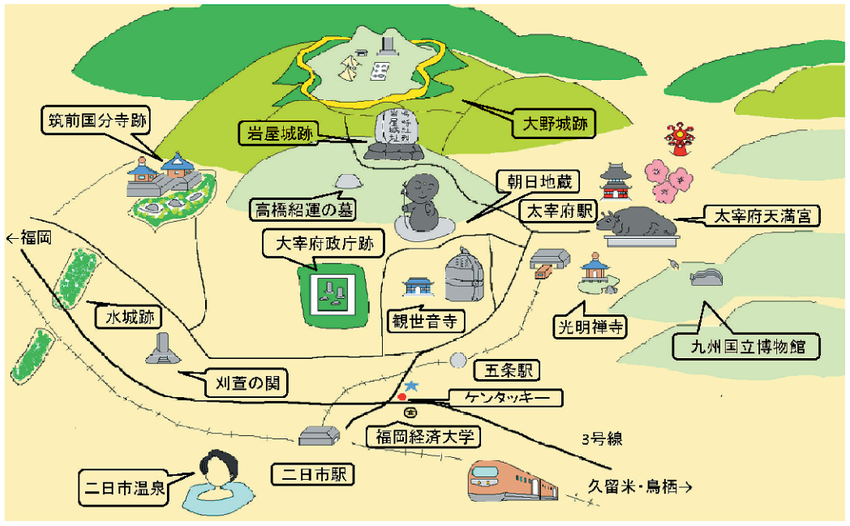
■sonic cafe
営業時間：11:00 ～22 :30
TEL：092-925-6632
場所：ケンタッキーの隣の★マーク



水城跡



■水城跡
博多の方から来ると太宰府に入ってまもなく道路や線路を横切って木立に覆われた丘が続きます。
その丘が664年に唐と新羅の攻撃に備えた防衛施設水城です。
その規模は全長1.2km、基底部の幅80m、高さ10mの人工の堤防です。



大宰府のプチ歴史～ちょっぴり賢くなろう♪～

大宰府は、奈良・平安時代に「遠の朝廷（とおのみかど）」と呼ばれ、中国、朝鮮の外交窓口かつ防衛の前線でもありました。663年に白村江の戦いで大敗したため、守りを固めるために水城と大野城を築きました。
901年に、菅原道真公がこの地に左遷され、学問の神様として今でも尊崇されています。
939年に藤原純友の乱で、大宰府の都は焼かれてしまい、歴史上から消えてしまいました。
戦国時代には、島津と大友が四王寺山にある岩屋城で戦いました。結果的には島津が勝つのですが、大苦戦し、この戦いのせいで、島津は九州を統一できなかったとも言われています。
また、数度の炎上を経た太宰府天満宮も、毛利元就の三男小早川隆景が再建し、今に至っています。
振り返ってみると、太宰府は日本の歴史に深く関わっていて、波乱に満ちた土地なのです。

（文・写真　松尾朝子）

久留米コラム ②

JR久留米駅編



◀現在の駅舎

会報前号に引き続き、街の玄関口である駅が今回のお題です。私は鉄道マニアではないのですが、そこそこ「鉄道」というものが好きです。月並みですが、要するに公共交通機関の施設としての駅や道具としての列車に過ぎないはず（通勤に利用している方などはまさにこれでしょう）なのに、旅立ちや再会や別れの舞台になるようなイメージが多様なところなどが良いと思います。ちなみにテツドウという響きも軟弱さがなくて良いですね。駅弁の存在も忘れてはなりません。

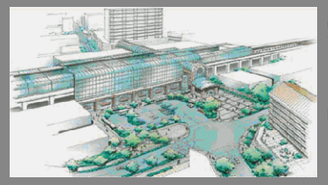
卒業生の皆さんも初めて久留米に来たのはJR久留米駅でしたというような方もたくさんいらっしゃるのではないでしょうか。福岡県では「福岡、北九州の次くらいの街」だと言われるにしては、西鉄久留米駅あたりと比べてもJR久留米駅やその周辺というのは地味で、これで人口23万人の街なのかなと思ったと誰かも言ってました（ちなみに現在は市町村合併もあって人口30万人になっています）。たしか栗本慎一郎氏も似たようなことをどこかで描いていたような記憶があります。

そのJR久留米駅ですが、九州新幹線の整備にあわせて装いが新たにされます。平成23年の春以降は新幹線で久留米駅までやってきて久大本線に乗り換え久留米大学前駅で降りる、というのが本当に実現するらしいのです。携帯電話が普及していなかった私が学生の頃は思いもしなかったことです。当時は公衆電話から伝言ダイヤルとかを使って連絡を取り合っていたよな～と、ふと思った今回の記事でした。

イメージ図は久留米市ホームページより転載

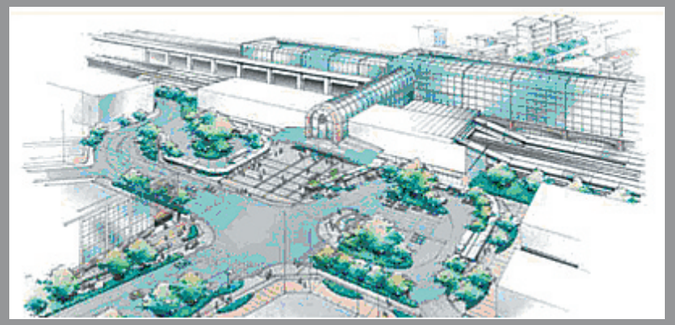


東口正面及び駅前広場イメージ図


西側イメージ図


西口正面及び駅前広場イメージ図


自由通路イメージ図


東側イメージ図

大学法人執行部とのパートナーシップを確認

～理事長・学長と手を携えて～



昨年12月5日、我々法学部同窓会執行部は、学校法人久留米大学法人執行部と、今後に向けた両者の協力体制を確認するために、大学本部（旭町）内の会議室にて面談いたしました。



大学側からは以前より、「現執行部を全面的にバックアップする」とのお言葉を頂いてきたわけですが、双方ともに今後一層の更なる協力体制を確立する必要性を感じており、こうして面談の場を設ける運びとなりました。

当日は法人側から前川理事長を始め、岩元、神代両常務理事、荒川理事、出口事務局長が出席し、更に教学側からは薬師寺学長と阿部法学部長が同席され、我々法学部同窓会現執行部に対する期待の大きさを実感しました。

一連の同窓会問題においてはもちろん、母校の発展に寄与するための協力のあり方等、様々な意見を交換し、相互の意思を確認いたしました。


折戸会長を中心に薬師寺学長（左）と前川理事長（右）

また、大学からは理事長・学長連名による法学部同窓会に対する本学の基本方針」と題した右記文書（本誌では公印略）をいただき、今後も変わらぬパートナーシップをお約束して下さいました。

尚、当文書の原本は、同窓会事務局にて保管しております。

平成20年12月5日

久留米大学法学部同窓会
会　長　折戸　謙介　殿

学校法人久留米大学
理事長　前川　博
学　長　薬師寺　道明

法学部同窓会に対する本学の基本方針について

先般、本学は委託徴収金請求事件（原告：旧同窓会、被告：学校法人久留米大学）を和解により終結させました（平成20年10月30日）。

これまで貴同窓会から2度に渡り、上記事件について和解に応じるべきではないとの要請文をいただきました。本学は貴同窓会の立場を十分すぎるほど理解しておりますが、誠に遺憾ながら、諸般の事情を考慮して和解の道を選択しました。大学内部でも、和解に応じないで裁判（判決）で決着をつけるべきだとの有力な主張があったことからも、和解による解決は、本学にとって苦渋の選択であったことをご理解いただけるものと存じます。

しかし和解に応じたからといって、本学が法廷で展開してきた主張が決して間違っていたと判断したのではありません。本学の主張は常識的にも妥当な内容であったという考えは少しも変わりません。したがって、本学の法学部同窓会に係る決定（平成18年2月理事会）も変更する意思はありません。

すなわち、本学と貴同窓会との連携･協力関係は、今回の旧同窓会との和解によって何も変わることはありません。

以上の点につきましては、10月理事会で確認済みのことであり、本学の基本的な方針です。しかし、今回の「和解」が卒業生に種々の誤解を与えかねないことも考慮して、この機会に貴同窓会に対する本学の基本方針を下記のごとく明らかにしておきます。

これらの基本方針を再確認しておくことは、本学と貴同総会の連帯関係を今後強化していく上でも、有意義であると考えます。

記

（1）　法学部教授会が平成１７年５月に貴同窓会を法学部のパートナーとして承認して以来、貴同窓会は本学が公認する唯一の法学部同窓会である。

（2）　新入学生の入会金の委託徴収は、今後とも貴同窓会からの委託により継続して行う。

（3）　現在、本学連合同窓会の推薦により、貴同窓会会員から２名の法人評議員を任命しているが、当該評議員には今後とも本学の大学運営に協力をしていただく。

（4）　貴同窓会には学生の活動への援助を始め、多方面で本学の運営にご協力をいただいているが、こうした連携・協力関係は本学の発展のために今後ますます強化していく。

平成20年度定期総会を開催

平成20年5月31日（土）、御井キャンパス学生会館において、平成20年度定期総会及び懇親会を開催いたしました。

37名の参加者（委任状149通）のもと右記の議案について提案が行われ、いずれも承認されました。

総会終了後は、同じく学生会館の2階にある「欅（けやき）」に場所を移し、懇親会を行いました。懇親会は、参加者の皆さんに楽しんでいただけるよう様々な趣向を凝らした企画を行いました。准教授の松田先生のご協力で編集作成したＤＶＤを上映。法学部恒例の新入生オリエンテーション合宿の模様や学内行事を紹介し、続いて先生方の17年前の若かりし頃と現在を比較した写真を上映したところ、場内ではあちらこちらから笑いが起こり、非常に和やかな空気が流れました。

会場のあちこちでは昔話に花が咲き、クイズやゲームで更に盛り上がり、それぞれ上位を占めた参加者には賞品を差し上げ、大変に喜んでいただけたようです。

本年度の定期総会は、5月30日（土）に開催いたします。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。



第1号議案　平成19年度事業報告について
第2号議案　平成19年度決算報告について
　　監査報告
第3号議案　平成20年度事業計画について
第4号議案　平成20年度予算の決定について
第5号議案　学内支部の発足について
第6号議案　会則変更及び規則の追加について
第7号議案　役員の選任について

平成19年度決算・平成20年度予算

（単位：円）

借方				貸方			
款	項	20年度予算案	19年度決算額	款	項	20年度予算案	19年度決算額
事業費		4,700,000	2,766,905	会費収入		8,200,000	8,100,000
	旅費・交通費	500,000	280,380		入会金	8,200,000	8,100,000
	会議費	50,000	10,768		会費	0	0
	総会費	1,000,000	507,713	利息収入		0	10,527
	渉外費	300,000	184,000		預金利息	0	10,527
	印刷費	100,000	41,265	雑収入		0	23,000
	会報費	1,500,000	1,045,436		雑収入	0	23,000
	広報費	100,000	50,350	国税還付金		0	15,980
	支部対策費	200,000	0		還付金	0	15,980
	あのく祭援助費	250,000	250,000				
	補助費	700,000	396,993				
記念事業費		1,500,000	0				
	記念事業費	1,500,000	0				
事務費		6,670,000	4,083,808				
	人件費	2,700,000	2,511,090				
	事務局維持費	400,000	337,562				
	通信運搬費	150,000	90,803				
	消耗品費	70,000	50,419				
	雑費	3,000,000	1,067,200				
	備品費	300,000	9,934				
	支払手数料	50,000	16,800				
積立金支出		0	0				
	基本金支出	0	0				
	事業積立金支出	0	0				
年末調整立替		0	15,980				
	年末調整立替金	0	15,980				
予備費		151,775	0				
小計		13,021,775	6,866,693	小計		8,200,000	8,149,507
				事業積立金取崩		0	0
次年度繰越金		0	4,821,775	前期繰越金		4,821,775	3,538,961
合計		13,021,775	11,688,468	合計		13,021,775	11,688,468

法学部同窓会活動報告

平成20年
4月7日　入学式
12日　創立80周年記念式典・祝賀会
19日　4月度常任理事会
26日　商経同窓会総会
5月8日　文学部同窓会総会
　　会計監査
22日　千歳会（文系学部正副会長会）
31日　平成20年度定期総会
6月4日　連合同窓会運営委員会
14日　6月度常任理事会
7月12日　臨時理事会
　　80周年誌編纂委員会
25日　大学評議員会
8月30日　8月常任理事会
9月20日　商経同窓会日田支部会
10月25日　10月度常任理事会
11月3日　綱紀監査部会
15日　商経同窓会福岡支部会総会
17日　広報部会
22日　広報部会・綱紀監査部会
29日　11月常任理事会
12月5日　法人執行部との面談
　　商経同窓会忘年懇親会
6日　法学部パーティ
10日　法学部懇親会
13日　国際交流懇親会

平成21年
1月10日　1月度常任理事会
20日　千歳会（文系学部正副会長会）
2月14日　商経同窓会久留米支部総会
17日　連合同窓会運営委員会
21日　商経同窓会佐賀支部会総会
25日　学内支部会第1回総会
28日　2月度常任理事会
3月25日　卒業式（法学部　第19回）
27日　大学評議委員会
　　3月度常任理事会

法学部同窓会執行部のご紹介



会長
折戸　謙介（第5回卒）

現在、100年に一度の未曾有の不況に突入しつつあると言われています。振り返ってみると、私が卒業した平成７年から現在に至るまで、世間は常に不況であり、就職難でした。私たち若年層には、特に非常に厳しい状況が続きそうです。こんな時こそ、同窓会を基盤にし、何か卒業生同士の協力態勢みたいなものを組織出来ないだろうか。そんな事を日々考える今日この頃です。



副会長
担当：綱紀監査
山下　志功（第1回卒）

１期生の山下志功です。副会長ということになってしまいました。私のような年寄りは早めに引退すべきでしょうが、地元居住の縁もあってお手伝いをさせて頂いています。１期生はだいたい皆40歳以上となったはずです。同期のみんなはどうしてるのでしょう。年齢的に仕事や家族や地域での役割が盛りだくさんの年頃でしょうからみんな忙しいでしょうけど、いずれお会いしましょう。(^^)/



副会長
担当：総務企画
松尾　朝子（第5回卒）

同窓会活動をはじめて早４年が経ちます。副会長と主に総務企画を担当しています。

久留米に在住し、３年前に旅行会社を独立開業しました。

同窓会では楽しい企画を準備してお待ちしていますので、是非遊びに来て下さい。



事務局長
担当：綱紀監査
安達　美佐子（第1回卒）

同窓会事務局に着任して、3年が過ぎました。

その間様々なことがありましたが卒業生の皆さん、先生方のおかげで、こうして日々の業務をこなしております。

これからも頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

お近くにお越しの際は、ぜひ千歳会館にお立ち寄りください。



学内支部長
村井　健太郎（第1回卒）

第１期生の村井健太郎です。卒業後、久留米大学に勤務しています。

同窓会役員の一員としてまた学内支部長としても大学及び法学部の発展の為に尽力をつくしていきたいと思います。

よろしくお願いいたします。



担当：財務
林田　俊彦（第2回卒）

法律学科第2回卒業の林田です。昨期に引き続き理事（財務担当）を拝命しております。

学内職員として同窓会と大学との懸け橋として、また諸問題の解決に尽力できればと考えております。よろしくお願い申し上げます。



担当：財務
日比生　総子（第2回卒）

皆様こんにちは。

学内の千歳会館へ足を運ぶようになり早…年、季節毎の車窓の景色も楽しみになってきました。

昨今、あまり明るいとは言えない社会情勢でありますが、明けない夜はないと公私共に今期もがんばっていきたいと思っております。

どうぞ、よろしくお願いいたします。



担当：広報
横田　淳一（第3回卒）

なぜか広報を担当し、主にはこの会報の編集に携わっております。

そしていつの間にか当会報も今号が4回目です。どなたか“我こそは！”という方いらっしゃいませんか？

広報部員大募集中です！！



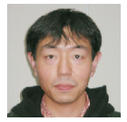
担当：綱紀監査
植松　徹也（第6回卒）

はじめまして。平成8年卒業の植松と申します。

学生時代は学生寮や学友会でお世話になりました。

久留米大も久留米の町並みも大分かわりました。

卒業すると久留米に来られる機会も少なくなるかと思いますが、お近くに来られる際にはぜひお立ち寄りください。



担当：広報
小原　哲哉（第11回卒）

このたび初めて法学部同窓会の役員として活動させていただくこととなりました、小原哲哉と申します。

同窓会は、遠く離れたところで生活している卒業生にとっては母校との大切な絆であり、在校生にとっては社会で活躍している先輩方が大勢いる頼りがいのある存在であると考えます。今まで以上に同窓生に集っていただける信頼ある同窓会になっていければと思います。どうぞ皆様の声をお聞かせください。微力ながらお手伝いさせていただきますので、よろしくお願い致します。



担当：広報
岡部　紗世（第13回卒）

大学には、学部・大学院（修士）・専攻科と7年間お世話になりました。

やっぱり母校が恋しくて、同窓会の幹事を始めましたが、まだまだ足を引っ張ってばかりですが、母校の発展のためになれればと思ってます。

大坪　隼人（第9回卒）
担当：総務企画

平成20年度学内支部総会が開催される！



学内支部長　　村井　健太郎

さる平成21年2月25日（水）、久留米大学旭町基礎1号館２階会議室において、19時より法学部同窓会学内支部総会が開催されました。

当日は、天候がすぐれない中、来賓として宗岡元学部長、阿部学部長、小竹次期学部長、出口商経同窓会学内支部新支部長の4名がご出席いただき、法学部同窓会からも折戸会長、事務局の安達さんを始め役員の方々にもご出席を頂きました。

総会は、学内支部幹事で2期生の林田俊彦氏の司会により進行されました。その中で折戸会長による同窓会活動の経過報告がなされ、その後同窓会学内支部内規案及び会費の徴収についてと、学内メーリングリスト作成について提案がなされ承認されました。

また、次期学内支部長選出につきましては、私が平成22年3月31日まで支部長ということで承認されました。

最後に今後の活動方針について説明がなされ閉会しました。

当日は、出席者が少なかったものの委任状はすべて集まり総会も無事に成立しました。

その後、場所を居酒屋「八蔵」に移して懇親会が行われ、少人数でも盛り上がり結束を深めました。

この法学部同窓会学内支部会員も現在20名を超え学内組織の一つとして、会員相互の親睦・連携をはかるとともに今後久留米大学のさらなる発展に少しでも寄与できるように法学部及び法学部同窓会と協力体制を築いていければと思います。

今回の総会開催にあたり、尽力頂いた林田氏、事務局の安達さんはじめ関係者各位に深く感謝いたします。お忙しい中出席いただいた方々本当にありがとうございました。

専門職団体支部（仮称）
参加者募集

発起人
第５回卒業生　折 戸 謙 介

この度、専門職団体支部を設立することとなりました。ここに言う法律専門職とは、弁護士、司法書士、弁理士、税理士、社会保険労務士、行政書士などの法律系の国家資格を職業とする、いわゆる士業です。士業の仕事というのは、お互いの情報交換が非常に重要な職業です。専門職団体支部を発足させ、情報交換の場を定期的に設けることが出来れば、参加者にとって大きな利益になることは間違いありません。

また、今回の専門職団体支部の参加者は、士業だけに限定せず、そうした国家資格や公務員の勉強をされている方々や、弁護士や司法書士事務所等で事務員として働いておられる方、働きたいと考えておられる方にまで拡大して募集をさせて頂くことにしました。そうした、国家資格や法律専門職に興味がある方は沢山いても、それらを取りまとめ、お互いに紹介、情報交換をする場というのは、これまでなかったと思います。設立当初は小さな集まりにしかならないかもしれませんが、時間をかけて、充実した組織へと育てていきたいと考えております。

なお、参加者の募集は、恒常的に行う予定ですが、設立総会を開催する手前上、第一次の参加募集締め切りは平成20年5月20日までとさせて頂きます。興味を持たれた方は、是非、下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

久留米大学法学部同窓会事務局（担当：安達）
TEL/FAX　0942（43）5164
E-mail ：krm-hou-dou@khh.biglobe.ne.jp

おりと行政法務事務所（担当：折戸）
TEL/FAX　092（851）5559
E-mail ：abbey.road1972@m2.dion.ne.jp

～他学部同窓会との交流～

医学部同窓会・商経同窓会・文学部同窓会



同窓会活動にとって、重要なもののひとつに「他学部同窓会との交流」があります。

わが久留米大学には法学部同窓会の他に、医学部同窓会を始め、商学部と経済学部を併せた商経同窓会、文学部同窓会の4同窓会があり、日頃より交流をさせていただいております。

特に文系同窓会同士の交流は、同じ御井キャンパスということもあって、密な交流を心がけており、念に一度の総会・懇親会はもちろんのこと、会員数2万5千人を超え商経同窓会には各地に支部があり、支部会にも参加しています。



◀宮原商経同窓会長（右）と折戸会長（左）

法学部同窓会は他学部同窓会との交流を通じて、今後もお互いに学部を超えた協力のあり方を考えながら、久留米大学の発展に寄与することが重要だと思っています。

同窓会員便り　～私の現在（いま）～



岸本　紳吾（第13回卒業）

内地では、春も終わりに近づき梅雨入り間近という時期だと思いますが、同窓生の皆様いかがお過ごしですか。ここ沖縄では、４月に海開きが行われ海水浴シーズンがスタートし、５月上旬には梅雨入りをしたところです。

私は、大学を卒業してから地元沖縄に帰り、現在は志学塾本部校で、中学生を相手に英語と社会の講師をしています。仕事を始めた頃は、何も分からず、ただ自分のできる事をやるだけで精一杯の日々でしたが、会社の上司や同僚とコミュニケーションを取り合ってアドバイスをもらったり、一方で、１回り以上年下のエネルギッシュな生徒たちと正面からぶつかり、互いに刺激しあう中で、自分に負けじと、そして生徒たちのためにと夜中までプリントを作り、授業の内容を工夫していくことで、生徒たちの成長と共に自分の成長も感じることができています。その気持ちは今でも活きており、時には生徒たちに怒ったりもしますが、笑いも入れながらも真剣に楽しく・パワフルに授業を行い、忙しいながらも充実した楽しい日々を送っています。



早いもので私が大学を卒業してもう６年が過ぎました。気がつけば時間は過ぎているものです。「まだ若いから……」と思ったりもしますが、今日より若い日はないから悩みながらも目標に向かって歩んでいこう。という自分の気持ちと共に一日一日を大切にしていこうと思っています。

＊皆様からの「近況報告」をお寄せください。自薦、他薦は問いません。寄稿、お問い合わせなどお気軽に事務局までご連絡ください。

お知らせ

同窓会事務局より

平成21年度定期総会のお知らせ

日　時：平成21年5月30日（土）午後2時30分～（受付：午後2時～）
・総会議事　午後2時30分～午後3時30分
・懇 親 会　午後4時～午後6時30分　学生会館2階「欅（けやき）」
会　場：久留米大学・御井キャンパス　学生会館３階「ミーティングルーム」
議　題：平成20年度事業報告ならびに決算承認について
平成21年度事業計画ならびに予算案承認について
その他

住所連絡のお願い

現住所、電話番号などご変更がありましたら、同窓会事務局までご一報下さい。

会報への投稿について

近況報告や同窓会に期待すること、情報提供など会報への投稿をお待ちしています。
また、「マイ　ベスト　ショット」企画として、会員の皆様からの傑作写真の投稿をお待ちしております。お気に入りの写真や旅行先での美しい風景、お住まいの街の見慣れた風景など、ジャンルは問いません。どしどしご応募ください。写真には簡単な説明やエピソードなどを添えてください。
お問い合わせなどは、下記までお気軽にどうぞ。

同窓会事務局　TEL/ FAX　0942（43）5164
E-mail：krm-hou-dou@khh.biglobe.ne.jp

大学就職課より

同窓生へのお願い

就職課では学生の進路決定に向かって色々と努力をしております、しかし、昨年来の社会情勢の悪化に伴い採用基準の引き上げや、求人数の激減により急激な就職環境が厳しくなっています。内定報告者としては昨年同様に1,000人を超える新社会人が誕生することは確定していますが、来年度は各企業の人事採用担当者からは「今年度以上に厳しいものになる」とよく耳にします。
同窓会へのお願いとしては、この厳しい状況を乗り越える為に、採用等の計画や情報が有りましたらご連絡ください。就職課よりすぐにお伺いします。また、就職課で把握している卒業生の情報（住所変更や再就職先等）を同窓会と連携して、今後の再就職や離職情報に役立てていきたいと思っています。

ご報告

平成21年4月1日より御井キャンパスの事務組織変更に伴い就職課、教育・学習支援センターが「就職・キャリア支援課」となりました。業務の統合により1年生から4年生まで一貫したキャリア形成支援を行います。
以上ですが、今後ともよろしくお願いします。



図書館前

編集後記

今年、アメリカではオバマ大統領が“チェンジ”を合言葉に誕生しました。一方の日本では、相変わらず閉塞感を脱却できない社会状況が続いており、皆さんの中でも仕事や日常生活で思わぬ苦労を余儀なくされている方もいらっしゃるのではないかと思います。この経済不安の元凶は紛れもなくアメリカでありますが、オバマ大統領の就任演説とそれに聞き入る国民の熱狂ぶりを見ていると、なんとなく羨ましく思えた方も少なくなかったのではないでしょうか。
久留米大学に目を向けてみますと、今号でも取上げましたが、創立80周年を迎え、各キャンパスでの施設の建設をはじめとした記念事業が推進中です。中には竣工した施設もありますが、これから竣工する施設もあり、大学の景色も大きく変わりそうです。久留米はもとより筑後地区に住む住民にとって、久留米大学は大学病院をはじめとして市民生活に密着した存在です。その意味からすると久留米大学の“チェンジ”は地域をも“チェンジ”させる源でもあると思います。
さて、今号でもシリーズ企画として、「今むかし」「久留米コラム」などがありますが、大学のご協力のお陰で古い写真をご提供いただきました。私事ですが、特にあのく祭の仮装パレードは、その昔、恥ずかしい格好をしながらも練り歩いた思い出があり、非常に懐かしい思いが致します。今まで、まだまだ若いと思っていましたが、いつの間にか、2008年度の流行語大賞となったアラフォー（around 40）です。法学部の歴史からすると一番の年長者でも40歳そこそこでしょうから、大半の卒業生は、一般的には“若い”と言われる方々でしょう。しかし、これから年を重ね、歴史が積み重なっていけばいくほど、懐かしさが深くなると思います。今後もこの同窓会会報をそのひとつのツールとして楽しんでいただければ幸いです。
最後に3月31日をもって阿部先生が法学部長を退任されました。先生には、同窓会の再建に多大なるご尽力をいただきました。この場を借りて厚く感謝申し上げます。

（横田　淳一）